

June 22, 2007

化学工業日報

Chemical Industry Daily News

革新的技術の創出へ

オグ
イメージング
バイオ

アンチキヤンサー
サージヤパン 大阪にラボ新設

米アンチキヤンサーの
日本法人アンチキヤンサ
ーシヤパン(本社・大阪
府茨木市、八木滋雄代表)
は、大阪・彩都のバイオ
ヒルスセンター内に研究
施設「モレキュラーパ
イオイメージングラ
ボ」を新設し、近く業務
をスタートさせる。日本
に研究拠点を設け、実験
小動物を用いて生体内の
抗がん剤評価などバイオ
イメージングの革新的技
術の創出を目指す。

やラットなどの実験動物
の生体内イメージングの
技術ベースの研究開発を
主目的に開設。抗がん剤
の評価受託や評価技術の
ライセンス供与、実験用
トランスジェニックマウ
スの研究開発と販売、が
ん病態をとらえることの
できる最先端イメージン
グ技術の開発などの拠点
となる。がん研究を通じ
日本の評価市場の有望性
と共同研究開発の機会を
増やすため、日本に拠点
を設置した。

ゴに拠点を構えるアンチ
キヤンサーの日本法人。
アンチキヤンサーは、が
ん細胞にGFP(緑色蛍
光たん白質)やRFP(赤
色蛍光たん白質)遺伝子
を導入して、転移などのイ
メージングができるモデ
ルマウスを使った一連の
技術特許の保有や、がん
転移のイメージング技術
で世界トップクラスの成
果を挙げている。日本で
は塩野義製薬、富士レピ
オ、オリンパスと技術提
携している。

新しいラボは、蛍光た
ん白質を用いて、マウス

同社は、米サンディエ